

事務事業名	20000 不法投棄防止活動事業	予算科目	会計 一般 4	款 項 目	4 1 4	所管課	環境課	担当班	環境政策班	
基本施策	23 良質な環境の保全	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等			事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開	42 きれいなまちづくりの推進	戦略事業	202 不法投棄防止活動事業							
施策の展開		戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない		
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市内の不法投棄の防止対策として、不法投棄監視員(26人)を旭市内に設置し、担当地区(26地区)を割り当て、その地域を監視し、また、定期的な巡回パトロールとして、朝夕に不法投棄重点地域を不法投棄防止パトロールの委託をし、さらに、千葉県や警察と連携して環境課職員によるパトロールを実施することで、未然に不法投棄を防止する。 不法投棄してしまったものに対し、調査し、不法投棄を行った者が明らかである場合は、その者に対し指導を行い、不明である場合は、不法投棄物を処理する。 不法投棄監視員の報奨金の22人分は県からの補助金が交付される。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
その昔、千葉県は全国で不法投棄が最も多く、中でも海匝地域は産廃銀座と呼ばれるほど不法投棄が後を絶たなかった。その様な状況から、不法投棄を未然に防ぐ対策が必要となった。	以前と比べて大きな産廃の不法投棄は少なくなってきたが、依然として海匝地域の不法投棄は根絶されていない状況である。	不法投棄は旭市内各地であり、不法投棄物の撤去要請や不法投棄防止の看板を求められるなど市民、不法投棄監視員等からの要望が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円									
1.報償費	1,560	1. 報償費	千円	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
2.委託料	0	2. 委託料	千円	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	
3.(パトロール委託料)	1,248	3.(パトロール委託料)	千円	967	972	963	1,248	1,281	
4.(廃棄物処理委託料)	306	4.(廃棄物処理委託料)	千円	262	61	84	306	390	
5.その他	1,342	5.その他	千円	1,099	1,207	979	1,342	1,396	
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)		千円	3,888	3,800	3,586	4,456	4,627
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円	660	660	660	660	660	
2.都道府県支出金	660	2. 都道府県支出金	千円						
3.地方債	0	3. 地方債	千円						
4.その他	0	4. その他	千円						
		5. 一般財源	千円	3,228	3,140	2,926	3,796	3,967	

前年度増減理由	パトロール委託料及び廃棄物処理委託料の増
---------	----------------------

従事職員数	常時 1人	最大 4人	× 1日 = 延べ 4人
-------	-------	-------	--------------

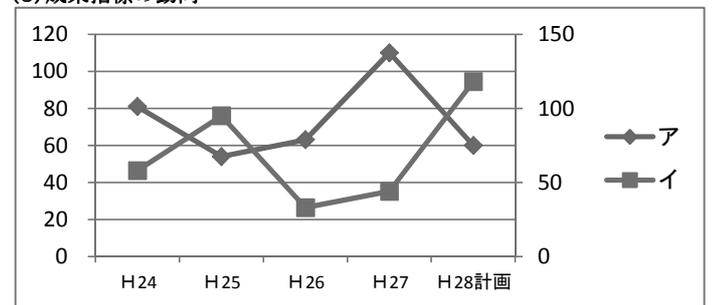
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・不法投棄監視員による監視 ・巡回パトロール業務(シルバー人材センター委託) ・市職員によるパトロール ・廃棄物減量化推進員による不法投棄監視		ア 不法投棄監視員の報告数(26名 月1回の報告数中の監視回数)	回	313	323	354	403	400
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 巡回パトロール回数(シルバー人材センター)	回	207	208	206	207	207
	対象意図 市域 新たな不法投棄が未然に防止される		④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図	対象意図	ア 不法投棄の件数	件	81	54	63	110	60	
		イ 不法投棄物のうち家電5品目処理量(不法投棄が減ることによって家電5品目処理量も減少する)	台数	58	95	33	44	118	

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある		①	②	③
	小さい	ほとんどない		④⑤	⑥	⑦⑧
			⑨	(4)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難								
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	比較	23年度 24年度	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	ア	イ	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	ア	30	△ 27	9	47	△ 50
				イ	△ 46	37	△ 62	11	74
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	例年通り		H29.4	巡回パトロールの回数を減らし、不法投棄の多い箇所に監視カメラを設置することで不法投棄の減少を試みる。					